

第72期

業 務 報 告 書

きびしんレポート

自/2021年4月1日 至/2022年3月31日



心のふれあい 大切に…

吉備信用金庫

ごあいさつ

KIBI SHINKIN BANK 2022

初夏の候、会員の皆様には益々ご盛栄のこととお喜び申し上げます。

また、平素は吉備信用金庫に対し多大なご支援とご協力、そして格別のお引立てを賜り厚くお礼申し上げます。

さて、2021年度の日本経済は、9月末まで緊急事態宣言等が断続的に発出されたことなどから、経済活動の回復は総じて緩やかなものとなりました。コロナ禍の影響を受け、外食・旅行をはじめとしたサービス消費が低迷したほか、年後半は半導体不足や東南アジアでの感染拡大に伴う部品供給不足等により、自動車産業を中心に生産と輸出が大きく落ち込みました。また、年明け以降のオミクロン株の感染急拡大により、緊急事態宣言の解除以降に持ち直しが見られた個人消費が再び悪化したほか、原油等の資源価格の高騰や円安に伴う輸入価格の上昇、ロシアのウクライナ侵攻による地政学リスクの発生等、景気回復にブレーキをかける要因が続きました。

このような状況下、当金庫は、コロナ禍の影響を受けた先をはじめ、事業者の皆様には、必要な資金繰り支援を迅速かつ柔軟に行うとともに、各種給付金や補助金の申請をサポートしました。また、オンラインによるセミナーの開催やビジネスマッチングに取組んだほか、土業を中心とした「たよれるまちの専門家」と連携し、コンサルティング機能の強化を図りました。加えて、2021年5月には旧東支店に「S-スタ」(総社市等4者連携協定に基づく総社移住・創業サポートセンター、事業支援センター、まちづくりセンターの総称)をオープンし、移住・創業希望者等に対する情報発信、支援を行ったほか、まちづくり団体等と連携し、町の賑わいづくりに努めました。また、個人のお客様には、「ライフプラン相談担当者」を主要店舗に配置するとともに、資産運用・資産形成、年金、相続等の各種相談会を定期的に開催し、生活に密着した様々な相談にきめ細かく対応いたしました。

当金庫では2022年4月から新たな中期経営計画をスタートさせ、「中小零細企業の支援と地域住民の豊かな生活づくりに貢献する」という信用金庫の原点に立ち返り、『お客さまの喜びを喜びに』のスローガンのもと、“最初に相談される金融機関”を目指し、役職員一同尽力する所存でございますので、一層のご支援、ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。



令和4年6月

吉備信用金庫

理事長 清水 宏之

事業の概要



会 員

協同組織金融機関の理念である相互扶助の精神のもとで、地域に密着した営業活動を展開しましたが、個人会員の高齢等脱退による減少により期末の会員数は103人減少の9,292人、出資金は252百万円となりました。

預 金 積 金

定期性預金は、低金利による要求性預金への預け替えにより871百万円減少、要求性預金は個人の年金資金の滞留や定期預金からの預け替えにより4,697百万円増加しました。総預金では期中3,826百万円(2.09%)増加しました。

貸 出 金

企業の課題解決による企業価値向上を目指す営業活動を展開し、担保・保証に依存しない事業性評価融資を推進しました。個人のお客様に対しては、ライフスタイルを的確に把握した上で、様々なニーズに対して情報を提供し、住宅ローン、個人ローン等の商品をご提案しましたが、前年度に実施したコロナ対策融資の一巡や個人消費の低迷、真備町内における住宅再建需要の減少等により、貸出金残高は、期中1,253百万円(1.91%)減少しました。

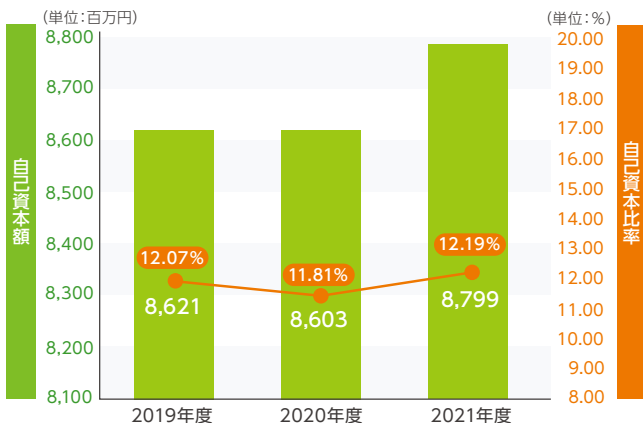
損 益 の 状 況

貸出金残高の減少等により貸出金利息収入が減少したものの、積極的な運用により有価証券利息配当金が増加しました。また、支援先の業況改善等に伴う貸倒引当金の戻入や前期に計上した社債売却損の剥落等により、経常利益は前期比205百万円増益の281百万円、当期純利益は同168百万円増益の222百万円となりました。

自己資本の充実の状況

2022年3月末現在の自己資本額は195百万円増加し8,799百万円となりました。自己資本比率は、自己資本の増加やリスクアセット等の減少により前期比0.38ポイント上昇し、**12.19%**と国内基準の4%を大きく上回り、皆様に安心していただける体力を保持しております。

自己資本比率の推移



貸借対照表

2022年3月31日現在

(単位:百万円)

科 目	金 額	科 目	金 額
資産の部		負債の部	
現金	1,437	預金積金	186,028
預け金	57,938	当座預金	1,974
金銭の信託	518	普通預金	95,976
有価証券	74,362	貯蓄預金	1,204
国債	10,607	定期預金	81,016
地方債	18,106	定期積金	4,989
社債	29,917	その他の預金	867
株式	107	借入金	4,883
その他の証券	15,623	借入金	4,883
貸出金	64,326	その他負債	334
割引手形	100	未決済為替借	25
手形貸付	1,472	未払費用	70
証書貸付	61,170	給付補填備金	2
当座貸越	1,583	未払法人税等	29
その他資産	980	前受収益	6
未決済為替貸	30	払戻未済金	1
信金中金出資金	704	職員預り金	116
前払費用	9	リース債務	38
未収収益	209	資産除去債務	9
その他の資産	25	その他の負債	34
有形固定資産	1,489	賞与引当金	62
建物	565	役員退職慰労引当金	46
土地	736	偶発損失引当金	3
リース資産	38	再評価に係る繰延税金負債	48
建設仮勘定	6	債務保証	385
その他の有形固定資産	142	負債の部合計	191,792
無形固定資産	13	純資産の部	
ソフトウェア	11	出資金	252
その他の無形固定資産	1	普通出資金	252
前払年金費用	91	利益剰余金	8,509
繰延税金資産	140	利益準備金	251
債務保証見返	385	その他利益剰余金	8,258
貸倒引当金	△1,271	特別積立金	7,312
(うち個別貸倒引当金)	(△1,130)	(経営体質強化積立金)	(1,700)
資産の部合計	200,413	当期末処分剰余金	946
		会員勘定合計	8,762
		その他有価証券評価差額金	△189
		土地再評価差額金	47
		評価・換算差額等合計	△142
		純資産の部合計	8,620
		負債及び純資産の部合計	200,413

(注記事項)

1. 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

損益計算書

自 2021年4月 1日
至 2022年3月 31日

(単位：千円)

科 目	金 額	金 額
経常収益		1,835,584
資金運用収益	1,590,808	
貸出金利息	917,209	
預け金利息	46,912	
有価証券利息配当金	609,448	
その他の受入利息	17,238	
役務取引等収益	156,426	
受入為替手数料	68,009	
その他の役務収益	88,416	
その他業務収益	13,974	
外国為替売買益	58	
国債等債券売却益	8,976	
その他の業務収益	4,939	
その他経常収益	74,375	
貸倒引当金戻入益	55,390	
金銭の信託運用益	18,806	
その他の経常収益	179	
経常費用		1,554,579
資金調達費用	23,915	
預金利息	20,701	
給付補填備金繰入額	1,376	
借入金利息	1,267	
その他の支払利息	568	
役務取引等費用	151,170	
支払為替手数料	21,294	
その他の役務費用	129,876	
その他業務費用	72,586	
国債等債券売却損	2,455	
国債等債券償還損	66,100	
その他の業務費用	4,030	
経費	1,293,126	
人件費	793,595	
物件費	458,857	
税金	40,674	
その他経常費用	13,780	
貸出金償却	20	
株式等売却損	9,593	
その他資産償却	23	
その他の経常費用	4,143	
経常利益		281,004
特別損失		0
固定資産処分損	0	
税引前当期純利益		281,004
法人税、住民税及び事業税	55,286	
法人税等調整額	2,833	
法人税等合計		58,120
当期純利益		222,884
繰越金(当期首残高)		723,531
当期末処分剰余金		946,415

(注記事項)

- 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。
- 出資1口当たり当期純利益金額 884円79銭

剰余金処分計算書

自 2021年4月 1日
至 2022年3月 31日

(単位：円)

科 目	金 額
当期末処分剰余金	946,415,898
剰余金処分額	59,412,185
利益準備金	1,861,000
普通出資に対する配当金	(年 3.0%) 7,551,185
特別積立金	50,000,000
(経営体質強化積立金)	(50,000,000)
繰越金(当期末残高)	887,003,713



以上のとおり報告いたします
2022年6月

吉備信用金庫

理 事 長 清 水 宏 之

専 務 理 事 神 崎 良 幸

常 勤 理 事 平 田 三喜男

常 勤 理 事 武 政 賢 二

常 勤 理 事 黒 岩 啓

理 事 水 松 幹 夫

理 事 下 山 仁 司

理 事 上 野 研 二

理 事 風 早 秀 義

前記の各項を監査した結果、その正確なことを確認しました。

常 勤 監 事 堀 信 明

監 事 加 藤 辰 彦

監 事 安 藤 覺

お客さまの喜び

お客さま満足度の向上
常にお客さまの利益を優先し、最初に相談される金庫を目指します。

お客さまの豊かな生活

ライフプラン提案・
よろず相談対応

事業所の発展

経営課題解決支援・
企業価値向上支援



吉備信用金庫

職員の喜び

職員の働きがいの向上
お客さまの喜びを喜びと感じ、働き続けたい金庫を目指します。

地域の発展

地域のみなさまと共に
地域の行事へ関わり、地域に
貢献する金庫を目指します。

地域活性化

地域連携・各種相談会開催



S-スタ

まちづくりセンター
総社移住・創業サポートセンター
事業支援センター

吉備信用金庫 SDGs 宣言

きびしんは地域の皆さまの期待にお応えします

当金庫は国連において採択されたSDGsが目指す取組みに賛同し、信用金庫の本業を通じて地域の課題解決や当世代に配慮した持続可能な社会づくりに貢献し、SDGsの達成に尽力します。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

多様な人財育成

多様な課題・ニーズに対応できる人財の育成に注力し、役職員が安心して活躍できる働きがいのある職場づくりに努めます。

- 専門性が高い資格取得の奨励
- 職員のスキル・職位に応じた研修の実施、人財配置
- 庫内トレーニー制度の活用
- 外部講師による研修の実施



環境に配慮した取組み

環境に配慮した事業活動に取組みます。

- クールビズ・ウォームビズの実施
- 環境に配慮した設備、備品の採用 (LED、ソーラーパネルの設置(総社西支店) ディスクロージャー誌や庫内文書のペーパーレス化への推進)
- 総社市が主宰する「リン得」への協力(S-スタ)



豊かなまちづくり

社会、福祉、教育などの地域の課題解決に取組む事業者や団体等に対する支援を行い、地域の人々が安心して生活できる持続可能なまちづくりに貢献します。

- まちづくり活動
- 資産形成支援活動



産業の活性化

- 専門家などの外部連携による課題解決
- ビジネスマッチングの支援
- 事業再生・事業継承支援
- 創業支援
- BCP (業務継続計画) 対応支援



地域経済の発展

地域の事業者の多様な課題の解決を支援し、持続的な地域経済の発展に貢献します。

- キャッシュレス化の普及支援
- S-スタでの地公体・商工会議所・商工会との連携



働きがいのある職場づくり

- 定期的な情報交換会によるコミュニケーションの活性化
- ダイバーシティの推進



「持続可能な社会」「安心で快適な暮らし」に貢献することは、わたしたち「きびしん」の社会的使命です。

きびしんは、地域社会(会員の皆様、お取引先の皆様、地域の皆様、職員)の幸せ(期待)に貢献します。

2022年中期経営計画を「新たな付加価値の向上」と定め、SDGsの取組みを通してきびしんの中長期的ビジョンの達成を目指します。

- 持続可能な社会に貢献し続ける金庫
- 常にお客様の利益を優先し寄り添い、最初に相談される金庫
- 職員がいつまでも働き続けたい金庫
- 持続可能な経営基盤を持つ金庫



きびしん
HP 2次元コード



登録はこちらから→



きびしんLINE
HP 2次元コード